

広報

川西

NO. 494
平成11年10月10日



燃えろ闘志！

勝利を目指せ！！



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail: kawanisi@nsv1.tiara.or.jp (毎月10日発行)

人口の動き
—10月1日現在—
男 4,160 (−7)
女 4,256 (+9)
計 8,416 (+2)
世帯数 2,278 (+4)
() は前月比較

家 計 簿



平成10年度一般会計決算を全員起立で可決しました（9/22）

平成10年度の決算が、九月二十二日の議会定例会で認定されました。この決算は、平成十年四月一日から十一年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせいたします。

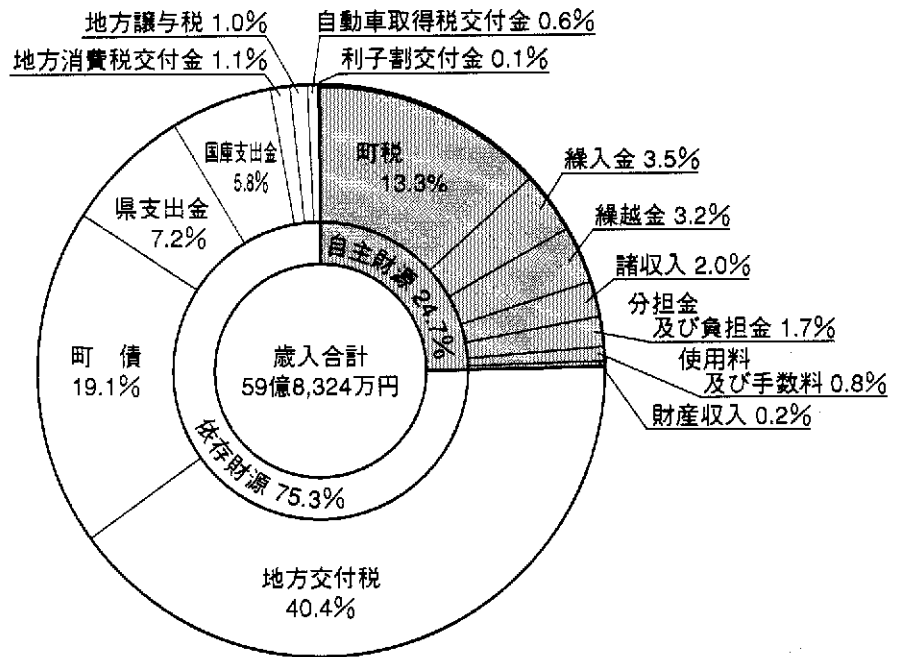
歳入は、五十九億八千三百二十四万円、歳出は五十七億二千二百一十円で、九年度決算に比べ歳入では一六・〇パーセント、歳出では一五・二パーセント増加しました。

歳入には、町税、分担金、負担

金、使用料、手数料など、町が自らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のように、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

町の十年度決算は、七五・三パーセントと依存財源の割合が高い構造が依然として続いており、ここ五年間の決算のうちで最も依存財源の率が高い数字となっています。

歳 入

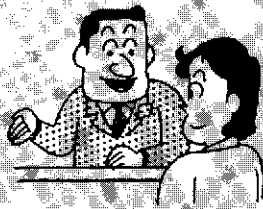


総額57億2,201万円はこのように使われました。

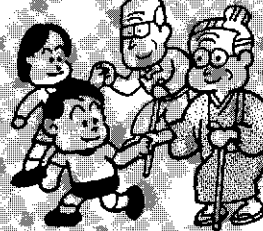
教育費 11.3%
6億4,441万円



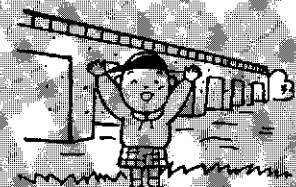
総務費 13.2%
7億5,435万円



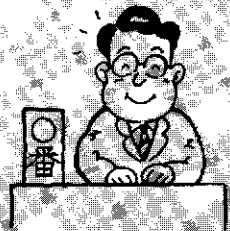
民生費 18.5%
10億5,883万円



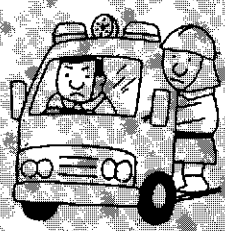
土木費 19.2%
10億9,693万円



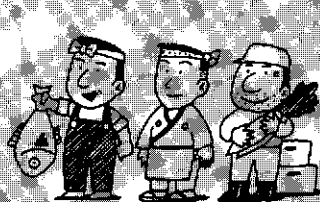
議会費 1.3%
7,731万円



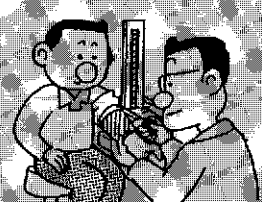
消防費 3.4%
1億9,797万円



商工費 4.9%
2億8,091万円



衛生費 6.5%
3億7,000万円



特別会計決算

国民健康保険	歳入	5億4,491万 円
	歳出	4億7,940万8千円
国民健康保険診療所	歳入	2億4,875万 円
	歳出	2億4,301万4千円
老人保健	歳入	9億3,721万4千円
	歳出	9億1,621万1千円
簡易水道事業	歳入	1,742万1千円
	歳出	1,728万3千円
農村集落排水事業	歳入	6億2,033万4千円
	歳出	6億2,033万4千円
下水道事業	歳入	4億7,840万5千円
	歳出	4億7,535万6千円
地域振興券交付事業	歳入	4,472万8千円
	歳出	940万4千円

平成10年度決算

お知らせします 町の

す。

また、歳出においては、「快適な暮らしの中に、安らぎと感動のあるまちづくり」という基本方向にのっとり、事務・事業が進められました。事業の分類にそって、その主要な事業の一部を簡単に紹介します。

【総務・民生】

・ デイサービスセンター大規模改造事業
・ 短期入所施設及びデイサービスセンター増設事業
・ 旧ハリマヤ橋工場解体撤去事業
・ 総合データバンク事業

【開発・観光】

・ 中子連絡道整備事業
・ コテージ建築事業
・ 松葉荘空調機器入れ替え事業
・ 中屋敷住宅造成測量設計委託

【衛生費】

・ 住民検診を始めとする各種検診事業、母子保健、環境衛生事業

【農林業】

・ 中山間地域活性化総合対策事業
・ 仙田地域総合整備事業
・ 緊急生産調整推進対策事業

【教育】

・ 多目的屋内体育施設建設事業
・ 中国黒龍江省との卓球交流事業

【土木】

・ 公営住宅建築事業
・ 特定公共賃貸住宅建築事業
・ 水環境事業
・ 道路改良・河川整備事業
なお、近年においては、公債費も大変な額になっているものの、交付税で措置のある優良債を中心に借り入れており、健全な財政運営に心掛けています。

目的別歳出の内訳

農林水産業費 10.3%

5億9,187万円

公債費 10.8%

6億1,657万円

労働費 0.3%

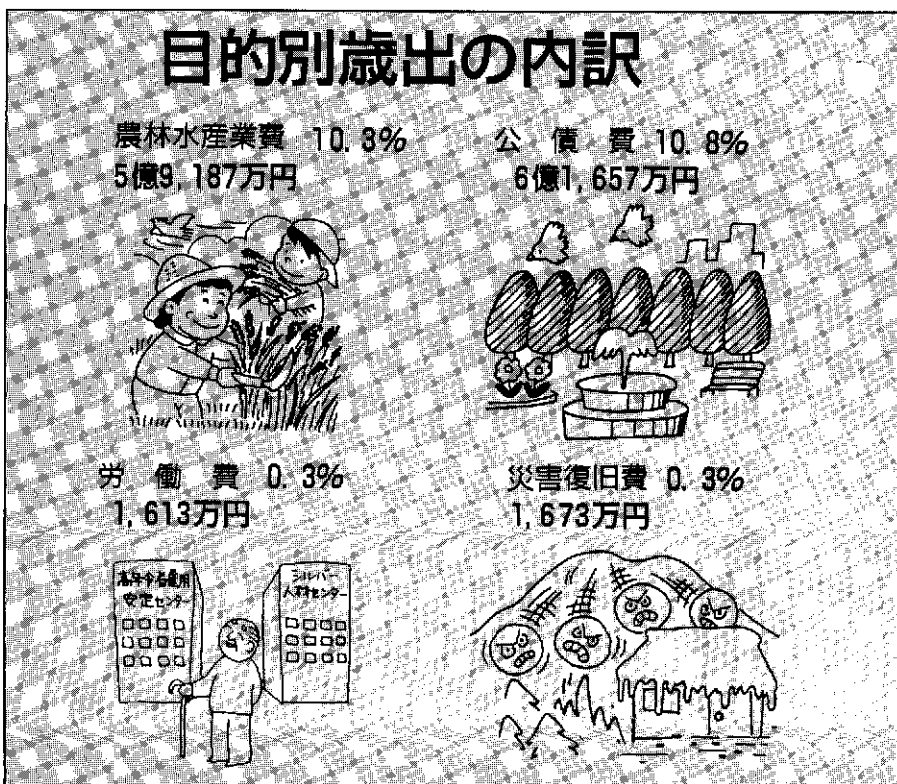
1,613万円

災害復旧費 0.3%

1,673万円



連日にぎわいを見せているスポーツパレス川西



介護保険を知らう (介護保険制度の概要 < 5 >)

四十歳以上のみなさんへ！

『介護保険制度集落説明会』

ただいま実施中！！

十月四日から、山野田農事集会所を皮切りに町内三十か所で、『介護保険制度集落説明会』を実施しております。

九月一日から要介護認定申請の受け付け開始、九月十六日から訪問調査開始と、来年四月からの制度の円滑実施に向かって、介護保険制度はすでに動き出しております。

来年の四月からは待ったなしで、四十歳以上のみなさん全員からの保険料徴収も行われます。

農作業も一段落のこの時期、ご家族ご近所お誘いあわせのうえ、おいでください。詳しくは、九月二十日号のお知らせ版をご覧ください。役場福祉課にお問い合わせください。

介護を必要とする人も

介護をする人も

どちらも楽になるために…

介護保険は、社会のみなさんでお年寄りと家族を支えていく制度です。

6市町村（十日町市・川西町・津南町・中里村・松代町・松之山町）共同による
『十日町地域広域市町村圏介護認定審査会』始まる…10月20日が初審査会！

『十日町地域広域市町村圏介護認定審査会』とは、介護保険において訪問調査の一次判定と主治医の意見書を基に、二次判定を行う『介護認定審査会』のことです。

審査会の委員は、医療・保健・福祉に携わる有識者で89人おられます。審査会では、5人1チームで審査判定にあたっていただきます。10月20日から来年の3月までに、6市町村の要介護認定申請者は3,000人を超えると予想され、100回を超える審査会が実施されます。



介護保険Q&A



Q 九月一日から要介護認定の申請受付を始めていますが、判定結果はいつごろ、本人に通知されますか。

A 広域対応の『介護認定審査会』による二次判定が、十月二十日から開始されます。川西町分の審査は、二十日を皮切りにおよそ十日ごとに行われ、一回二十〜三十件の判定がなされます。ですから、判定結果をご本人に通知できるのは、早い方で十月下旬となりますのでご了承ください。

なお、介護保険制度では、申請から判定結果通知までを三十日間と定めており、来年四月の介護保険制度施行後は、原則として期限内で対応いたします。

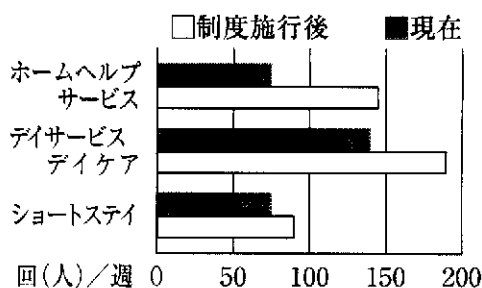


介護保険事業計画策定委員会(2)

介護保険制度で広がる町の介護サービス

介護保険では、町外の介護サービスも利用できるようになり、利用者にとって、選択の枠が広がります。

主な介護サービスの供給量の動き
—制度施行前後の提供量比較—



※平成11年3月の供給量調査の結果より。

新聞やテレビを通じて、「保険あって介護なし」の言葉を目や耳にされている方も多いのではないだろうか。しかし、実際には提供される介護サービスの種類や量によって保険料が決まるため、「介護なければ保険もなし」のほうが本当は正しいのです。

介護サービスの種類や量は、それぞれの市町村によって異なります。ですから、保険料にも差ができます。保険料の高い低い、その市町村の介護サービスの充実度を表すとも言われています。

策定委員会では、「介護サービスの充実」によって手厚い介護ができるよう、六十五歳以上の保険料の基準額を二、九九一元（現行制度下での推定）とし、下記の三つの町独自給付を加える方向で策定しています。

短期入所生活介護(ショートステイ)の

利用回数上乘せ

介護者が、疾病や冠婚葬祭などによって家庭での介護が困難な場合に、介護が必要な方を一時的に施設でお世話します。

単位：週／6ヶ月

	標準	川西町
要支援	1	2
要介護Ⅰ	2	4
要介護Ⅱ	2	4
要介護Ⅲ	3	6
要介護Ⅳ	3	6
要介護Ⅴ	6	6

あったかいお弁当を毎日お届けできたら…

毎日配食サービス [仮]

現在、町社協の事業として、ボランティアのみなさんによって週2回の配食サービスが行われています。

これを、残りの5日間についても提供できるよう協議中です。具体的にはこれから検討していきます。

配食サービスの利用頻度意向

提供回数	希望者数
週1回未満	1人
週1～2回	24人
週3～4回	6人
週5回以上	9人
計	40人

※昨年7月に行った、高齢者実態調査の要介護在宅調査より。
(対象者219人)

紙おむつ等支給 [仮]

現在、町社協に委託している紙おむつ等支給事業を介護保険の町独自給付の中で対応します。

利用者負担は、現行の所得による定額補助（月8,000円又は月4,000円）から、利用料の1割負担に変更させていただきます。

	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10
利用件数	178件	192件	269件	346件	370件

介護保険制度に関するお問い合わせは、役場福祉課高齢福祉係 ☎68-3111 (内線232) まで

ご存じですか 行政相談委員

国や地方公共団体（県や市町村）が、住民の福祉の向上を図る目的で行う施策を一般的に行政といいます。

行政は、住民が納める税金などによって実施され、いろいろな分野で行われます。道路や河川の整備、学校の建設、教育、お年寄りの保護や健康診断の実施、公園、緑地、町民の憩いの場の整備、農業を振興させるようなことや、その一面、税金や保険料などを徴収するのも行政です。

もちろん、国の行政はもっと大きく、世界に対して財政援助をすることや、防衛費支出なども税金によって賄われています。こうした税金を徴収することや、その税金を使うことに対して監視することに対する監視役であり、それを実行する法律を作るのが国民を代表する議会ということになるわけです。しかし、議会が監視役とはいっても、国の行政が各地方まで広がってしまうと、国会議員でも目が届かない面が多くあります。

こうしたことは、やはり直接関係した国民の皆さんがもつ意見（不満）が一番直接的です。この「不満や意見を聞きます」というのが行政相談委員です。

行政相談委員は、総務庁長官が委嘱する委員で、各市町村に必ず一人以上は委嘱されています。町では、現在高橋英雄さん（学校町・☎68-3334）がその任に当たっておられ、すでに在職5年になります。

行政相談委員の主たる任務は、国（政府の各省庁）が行う行政であって、そのやり方、方針、あるいはそれを取り扱う出先職員に不満や意見のある方から、その意見（不満）を聞き、それを担当する国の機関に皆さんに代わって申し上げ、国の行政を正そうという役目です。

例えば、道路の証明が暗いため痴漢が出て困るとか、川の側にガードレールがないため自転車に乗った子どもが落ちておぼれそうになったとか、あるいは、行政を預かる出先の窓口職員の対応が無愛想で、親身になって話を聞いてくれない。許可や認可の申請をしたのに、何か月も返事がないなど。いろいろなご意見や不満を持っている方がいるかと思えます。そして、こういうことをどこで相談したらよいか分からないというような方は、ぜひ行政相談委員にご相談ください。

町では、行政相談日として毎月千手・上野・橘・仙田のどこかの地区で相談所を開設しています。（お知らせ版の行事一覧をご覧ください。）また、ここに例示した以外の事柄でも、「こういう話はどこに行って聞けばいいのだろうか」というようなことでもかまいません。

行政相談委員は、本来は国の行政に対する不満や意見を聞く機関ですが、県や国の行政についても同じようにお聞きして相談に乗ります。相談内容の秘密で厳守されますので、どうぞ相談日にはお気軽にお立ち寄りください。



議会

報告

九月一日から始まった第六回川西町議会定例会の全日程が二十七日に終了しました。

十日は、六人による町政に対する一般質問がありました。二十一日には、平成十年度川西町一般会計決算認定ほか七つの特別会計歳入歳出決算と水道事業会計決算が認定されました。

二十七日には、川西町督促手数

料及び延滞金徴収条例と三件の一部改正条例、十日町情報館利用の事務委託に関する規約ほか規約の変更一件、平成十一年度川西町一般会計補正予算（第四号）及び国民健康保険特別会計補正予算（第二号）と水道事業会計補正予算（第一号）が原案どおり町決されました。また、雪室建設工事請負変更契約（一、一五六万四千九百九十九円）を原案どおり可決。十月三十一日任期満了となる町教育委員藤原元子（仁田、45歳）を再任することに同意しました。さらに、「介護保険の改善を求める意見書」ほか三件の意見書を提出することに決定しました。

退任の「あいさつ」

前助役 大平剛士

秋冷快適の候、町民の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私こと

この度、一身上の都合により九月末日をもちまして、助役を退任いたしました。



昭和三十七年に川西町役場に奉職いたしました以来、今日に至るまでの長い公務員生活の間、皆様から賜りました限りないご指導とご厚情に、心から感謝いたしております。

お陰様で、初代中村町長さん、二代根津町長さん、そして三代南雲町長さんという優れた為政者の下で、微力ながら公務に専心することができました。

特に、収入役、助役の職にありました五年間は、町民皆様から一方ならぬお力添えを賜りましたこと、前南雲町長さんから、厳しい中にも温情溢れるご指導を賜りましたことは、私にとって生涯最も

高の師であり、終生忘れえぬ得がたい経験をさせていただくことができました。誠にありがとうございます。

これまで、皆様から賜りました貴重なご教訓を大切にして、第二の人生を歩みたいと存じます。つきましては、今後とも相変わりがせず、一層のご交誼とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、川西町の一層の発展と皆様のご健康、ご多幸を心から祈念申し上げ、御礼と退任の「あいさつ」とさせていただきます。

もみじ引きに参加 地域交流図る

9月5日、小白倉集落で伝統の「もみじ引き」が実施され、この催しに、旧白倉小学校で8月14日～9月7日までワークショップを開いていたロンドンA Aスクールの生徒13か国およそ20人も参加。もみじの大木を引っ張り、水をかけ合うことで有名なこの祭りを大いに盛り上げ、地域の人と一緒に祭りを楽しましました。



みんなで一緒に引っ張りました
大木を引っ張りました



神輿競演会で優勝した中屋敷木島地区

みこし 神輿の競演や寸劇に沸く

9月4日～5日と千手まつりが実施されました。去年から始まった神輿競演会が今年も人気で、9町内から出場した神輿連が、千手神社近くの特設会場で神輿回しなどを披露。今年は、殿様・ピエロ等の仮装で登場し観客を沸かせた中屋敷木島チームが優勝しました。また、今年は、商工会千手支部による寸劇「龍馬伝説」が上演され、大いに盛り上がっていました。

生ごみも貴重な資源

9月7日～10日まで、川西中学校南校舎脇で、十日町砂利(株)環境事業部主催による生ごみ処理実習会が開かれました。これは、今まで生ごみとして廃棄していた残飯や野菜くずなどを原料にして、水分調整材の米ぬか、高温高速発酵菌を活用して5～6時間高温で処理することにより、生ごみを飼料・肥料という生成物として活用できるプロバイオシステムを採用。飼料として用いると、養鶏・豚糞の臭い激減に効果が現われるようです。



処理作業の説明を熱心に聞く上野小4年生の児童



「ふしぎな昔話」と題して披露された寸劇は、大いに集まった人々を楽しませてくれました

交通安全を呼び掛ける
九月二十五日、千手温泉で町交通安全協会・同婦人部による「高齢者交通安全のつどい」が開催されました。交通安全の腹話術や寸劇、三駐在さんのお話などで、交通安全を呼び掛けていました。



140日ほどに育ったキジを箱から放鳥する園児たち

キジを放鳥

九月二十九日、上野保育園入りの道路で、川西町猟友会(保坂精一会長・会員15人)によるキジの放鳥が行われ、上野保育園児や上野小学校児童らが、箱から五十羽ほどを放つお手伝いをしました。

十五夜祭りにぎわう

9月14日～15日と新町新田神社境内で、十五夜祭り(新町新田・じょんのび会主催)が開かれました。14日は大演芸大会が行われ、子供たちの寸劇・ダンス・のど自慢など、多彩な出し物を披露。屋台も設置され、祭りは大変盛り上がりしました。また、15日には、みこしが練り歩き、ゲートボール大会や子供花火大会などを実施、盛会のうちに終了しました。



舞台の上では、いろいろな催しを実施されました

まちのあつちからこつちから

星創プラン 通信

10

ステキ発見各賞決まる!!

北海道から福岡まで、全国二都道府県から三、一四点のご応募をいただいた写真と言葉のコンテスト「越後妻有ステキ発見」の本審査が、大岡信氏などの審査員により九月十三日に東京代官山・ヒルサイドテラスで行われ、ステキ発見大賞をはじめ、各賞が次のとおり決定しました。受賞者の皆さん、大変おめでとうございました。

◆ステキ発見大賞

(敬称略)

高橋賢治(津南町)

◆芸術部門

●優秀賞 柳芳信(松代町)

●川西町長賞 佐藤弘(見附市)

●松代町長賞 齋藤正三(加茂市)

●感動賞 山内景行(十日町市)

●審査員賞 <安斎重男賞>外

石富男(加茂市)<伊島薫賞>

諏訪宣子(群馬県)

◆一般部門

●優秀賞 齊木康晴(十日町市)

●十日町市長賞 遠藤八十一

(十日町市)

(十日町市)

●中里村長賞 桜井大士(長岡市)

●おらが賞 庭野豊(十日町市)

●審査員賞 <真野響子賞>久

保山真一(長野県)<大岡信

賞>津野文夫(新潟市)<中

塚大輔賞>高橋早苗(川西町)

◆ジュニア部門

●優秀賞 桜井瑛美(十日町小)

●津南町長賞 高橋あづさ(千

手小)

●松之山町長賞 殖栗かおり

(長岡市)

●まごころ賞 上村研史(上野

小)

●審査員賞 <北川フラム賞>

小林和彦(仙田小)<阿部真

理子賞>佐藤実弥子(水沢小)

●わんぱく賞 森早里香(神奈

川県、南雲加奈子(倉俣小)、

丸山洋祐(橋小)、風間亜沙

美(八箇小)、工藤悠(西小)、

水落麻美(鑑島小)

◆ステキ賞(入選)

小林七重(新潟市)、山内正胤

(十日町市)、関谷柳子(松代町)、

栗村成彦(東京都)、高橋笑

(松代町)、古谷方真(埼玉県)、金子敏子(埼玉県)、岩田和子(十日町市)、樋口愛男(千葉県)、勝田和代(六日町)、中林辰男(十日町市)、滝沢和平(松之山町)、若井武夫(六日町)、川崎充(川西町)、齊木薫夫(十日町市)、田村保和(十日町市)、鶴田君子(千葉県)、藤井八重子(与板町)、後藤浩子(新潟市)、佐藤茂子(新潟市)、仲淳(小千谷市)、中條誠(十日町市)、数藤進吉(川西町)、関口一幸(長岡市)、根津義広(十日町市)、茂野孝蔵(松代町)、秋田律子(松代町)、木田秀美(東京都)、遠田明子(十日町市)、宮澤健二(十日町市)、高橋明夫(松之山町)、瀬切新雄(中里村)、二瓶公介(十日町市)、高橋七恵(埼玉県)、庭野真由美(赤倉小)、庭野三由紀(赤倉小)、庭野駿一(赤倉小)、大口由華(水沢小)、尾見善恵(名ヶ山小)、根津明日華(津南小)、宮沢瞳(水沢中)、石沢貴司(三箇小)、蔵品京子(千手小)、登坂綾乃(千手小)、村越大樹(橋小)、佐藤麻衣(川西中)、小堺祐香(松代中)、富井文子(中里村)、高橋健吉郎(十日町市)、高橋嵩一(松代町)、勝田定夫(六日町)、福井悟(奈良県)、七五三木三枝子(群馬県)、小林仁(新潟市)、平田一幸(吉川町)、関口芳文(十日町市)、村山夏

第3回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果

(男子)

5年 100メートル

①中川大志(下条) ⑤高橋佑太郎(千手) ⑨宮友宏(千手)

6年 同

①鈴木龍也(川治) ②飯塚寛之

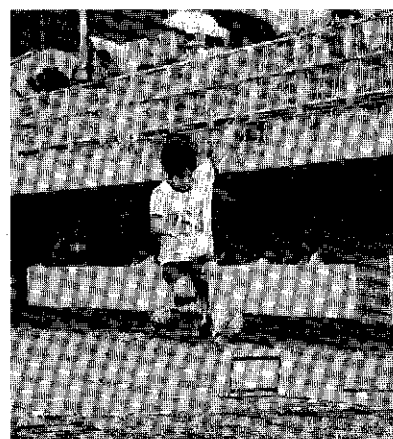
5年 1500メートル

①井川智之(下条) ②太田和成(鑑島) ⑥片桐裕貴(橋)

6年 同

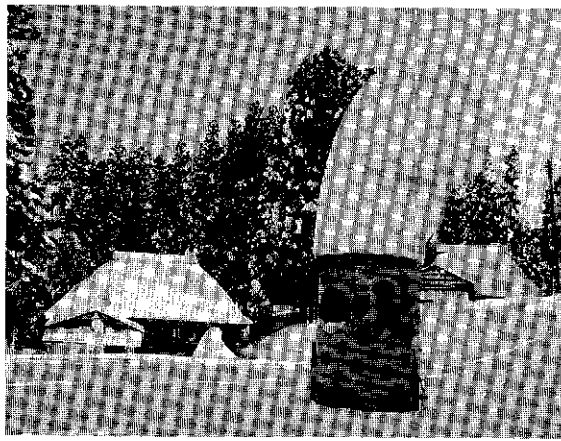
①遠田祐貴(川治) ⑤南雲 革

9月22日、十日町市笹山陸上競技場で、第3回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。
※1位~10位までの上位3位を紹介します。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位とします。



声援を背に受けて頑張る町児童(700番台が町の児童です)

樹(十日町市) 南雲徳栄(十日町市)、佐藤悠里(松之山町)、坂東健次郎(十日町市)、石川哲司(十日町市)、佐藤君子(松之山町)、佐藤栄作(十日町市)、植木元(柏崎市)、堀川建夫(新井市)、桜井勝美(群馬県)、荒井俊雄(長野県)、中林英一(十日町市)、生越久雄(十日町市)、樋口芳一(中里村)、村山吉史(十日町市)、金子昭子(十日町市)、板場良平(津南町)



ステキ発見大賞 火の用心 (高橋賢治さん)

ステキ発見表彰式に

お出掛けください

ステキ発見表彰式を十月十六日(土)午後一時からクロス10で開催します。各賞の発表と表彰、入選作品百点のパネル展示などが行われます。どなたでも入場できますので、ぜひお出掛けください。



芸術部門優秀賞 苗代作り (柳芳信さん)

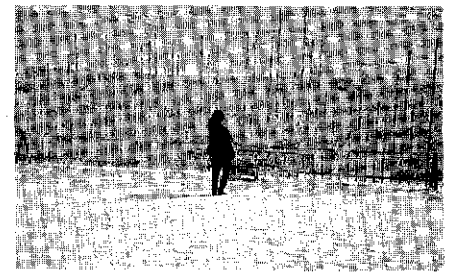
一般部門優秀賞 古タイヤ利用の花壇とてもステキ!! (斉木康晴さん)



なお、入選作品のパネル展示は、十月十六日正午から十八日まで同会場で行っています。

十日町市録で アートワークショップ

平成十年第二回アートワークショップ



ジュニア部門優秀賞 過去50年最高積雪棒グラフをながめるおばあさん (桜井瑛美さん)

ヨップは、十日町市録集落でブルー・マートンさん(フランス)を招いて、「六つの徳の物語」をテーマに八月二十三日〜二十七日まで開催され、地元の青年会、婦人会、小・中・高校生、先生方など連日四十人あまりが参加しました。初日は、各自が動物の絵を描き短い物語を創作しました。二日目以降は、そのイメージを大きき約四十五センチの合板の上に、持ち寄ったさまざまな材料で立体的に表現しました。マートンさんも滞在中、古から石仏などの民話を聞きながら作品の構造を練り、地元の方々と一緒に作品設置場所の選定を進めました。

参加者がワークショップで制作した作品は、来年マートンさんが制作する作品と一体のものとして、大地の芸術祭期間中録集落内に展示されることになっています。※問い合わせ先

十日町地域広域事務組合 企画振興課 (057-2637)

(千手) ⑨ 水井裕貴(橘) 5年 走り幅跳び

② 高橋佑太郎(千手) ⑧ 友宏(千手) ⑨ 藤巻健太(橘) 6年 同

① 古谷貴宏(川治) ② 高橋宣弘(東) ⑥ 丸山秀基(上野) 5年 走り高跳び

① 川崎将幸(千手) ② 丸山正樹(吉田) ⑧ 星名貴弘(千手) 6年 同

① 鈴木龍也(川治) ⑩ 樋口陽太(千手) ⑩ 小林智之(千手) 5年 80メートルハードル

① 中川大志(下条) ② 鈴木俊也(馬場) ⑧ 保坂洋三(千手) 6年 同

① 金子良太(十日町) ② 植木涼太(水沢) ⑧ 星名大地(千手) 5年 400メートルリレー

① 下条小④ 千手小(高橋佑太郎、川崎将幸、関口直輝、宮友宏) ⑥ 橘小(片桐裕貴、中川広也、藤巻健太、根津裕太郎) 6年 同

① 川治小② 東小③ 水沢小

〔女子〕

5年 100メートル

① 小杉一恵(下条) ③ 小林加奈(仙田) ⑦ 柳良子(千手) 6年 同

① 江村美樹(西) ② 山田由布子(東) ③ 山本久美子(東)

5年 800メートル

① 水落あすか(鑑島) ② 春日苑子(吉田) ⑤ 小林加奈(仙田) 6年 同

① 小林美貴(下条) ② 山本久美子(東) ⑤ 平野実穂子(千手) 5年 走り幅跳び

① 阿部江里子(十日町) ④ 水品貴恵(上野) ⑨ 柳良子(千手) 6年 同

① 山本奈央(橘) ② 星名沙保里(東) ⑥ 小川翔香(上野) 5年 走り高跳び

① 小林いずみ(川治) ③ 押木莉絵(上野) ⑤ 小幡裕美(橘) 6年 同

① 丸山芽衣子(上野) ② 齊木麻美子(鑑島) ③ 水落紗智子(下条) 5年 80メートルハードル

① 小杉一恵(下条) ⑤ 山家由香利(橘) ⑧ 滋野真末(橘) 6年 同

① 村山優美(水沢) ② 桑原葉月(川治) ③ 小島望(東下組) 5年 400メートルリレー

① 下条小② 東小③ 十日町小 6年 同

① 西小② 東小④ 千手小(登坂泰子、星名育美、松崎さおり、斎藤陽子) 藤陽子



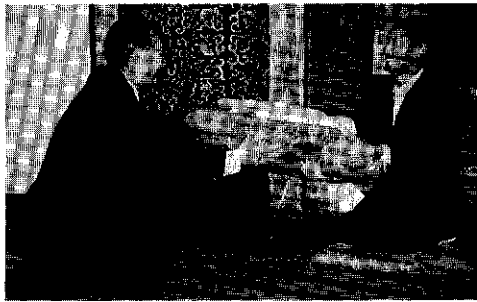
「敬老の日」

38人に祝い品を贈る

老人週間(九月十五日～三十日)にちなんで、県と町から八十八歳(米寿)三十八人に敬老祝い品が贈られることになり、十五日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。

(順不同・敬称略)

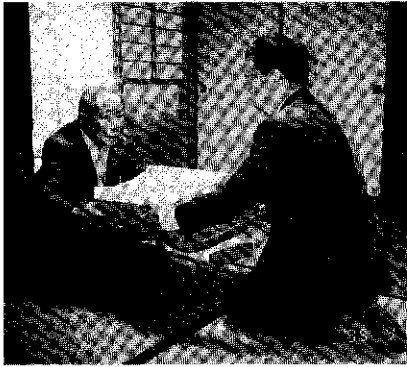
田村トク(山野田)、星野サヨ(発電所通り西)、富田イシ(栄町)、渡辺クラ(栄町)、川崎きみ井(栄町)、高橋ハリ(朝日町)、大溪不二男(上町)、小野塚テフ(上町)、山崎ヨシ(中央町)、太田トク(田中町)、太田キヨ(田中町)、高橋米(神社町)、広田久平(学校町)、丸山タニ(木島)、柄沢勇(沖



田口町長からお祝い品を受ける
広田久平さん

立、高橋ハル(伊友)、星名マ(伊友)、丸山伊勢松(高原田)、野沢セツ(あかね園)、田辺トモ(あかね園)、江口ミキ(あかね園)、川崎ツタ(上野)、富井キヨ(上野)、清水ミキ(上野)、星名忠一(下平新田)、小林キミ(下平新田)、和久井クニ(木落)、田口トウ(木落)、藤原トク(仁田)、丸山セツ(根深)、藤田サダ(根深)、田中直江(下原)、南雲チヨ(中仙田)、小林セキ(中仙田)、小林邦治(中仙田)、増田クラ(室島)、斉木ヨシ(小脇)、押木ヨシヲ(田戸)

総務庁が九月十四日、十五日現在の高齢者人口推計値を発表しました。それによると、六十五歳以上



水品収入役からお祝い品を受ける
星名忠一さん



水品収入役からお祝い品を受ける
増田クラさん

上の高齢者人口は、前年より六十七万人多い二千百十六万人(男性八百八十一万人・女性千二百三十六万人)で、総人口の一六・七%を占め、過去最高を記録しました。一方、県内の六十五歳以上の高齢者人口は五十一万四千八、高齢化率二〇・七%(前年比二〇・一ポイント増)、当町の六十五歳以上人口は二、二五九人、高齢化率二六・九%(前年比〇・一ポイント増)となっています。



大平助役からお祝い品を受ける
藤原トクさん

(敬称略)

川西町長寿者番付

平成11年9月15日現在
(平成12年4月1日満年齢)

東						西				
氏名	住所	世帯主	生年月日	年令		氏名	住所	世帯主	生年月日	年令
北村クメ	山野田	日出太	M 30. 4. 10	102	横綱	村山シマ	新町新田	若山昭治	M 33. 5. 12	99
数藤寅治	沖立	寅夫	M 34. 4. 3	98	大関	高橋惣治	室島	寅治	M 34. 6. 5	98
宮トミ	山野田	正朗	M 34. 12. 18	98	関脇	南雲ヤス	田中町	善二	M 35. 7. 7	97
田村チャウ	鶴吉	一策	M 35. 7. 23	97	小结	田口キヨ	木落	直正	M 36. 1. 7	97
丸山宗太郎	下原	本人	M 36. 2. 26	97	前頭	春日フク	伊友	好和	M 36. 5. 25	96
小海クヨ	小根岸	益男	M 36. 10. 23	96	2	石田コト	小脇	太郎松	M 36. 10. 27	96
山田ヨシ	あかね園	本人	M 36. 12. 10	96	3	星名ハル	学校町	美信	M 37. 1. 27	96
高橋ヒサ	中仙田	恒平	M 37. 3. 4	96	4	中村昌平	岩瀬	昌弘	M 37. 9. 10	95
宮本貞子	発電所通り東	昌幸	M 37. 10. 1	95	5	柄澤莊八	沖立	数藤実	M 37. 12. 7	95
根津英作	上野	本人	M 37. 12. 21	95	6	渡邊シゲ	上野	孝平	M 38. 1. 19	95
小野塚キイ	中央町	一	M 38. 1. 28	95	7	小林まつ	あかね園	本人	M 38. 2. 6	95
小幡春一	木落	昇	M 38. 2. 19	95	8	田村カ子	あかね園	本人	M 38. 3. 27	95
星野ミン	野口	勝平	M 38. 4. 4	94	9	池竹ヨシ	原田	利治	M 38. 8. 20	94
平野久蔵	四郎兼	治	M 38. 9. 26	94	10	滋野リヤウ	野口	義雄	M 38. 10. 8	94

川西町長選挙③

岩瀬 金子 幸 作

血で血を洗った

初代町長選挙の運動は告示と同時に激化し、「票の争奪に骨肉も相食む」とまで言われて一週間が過ぎた。四十三年前の有様を十日町新聞（昭和三十一年九月三十日号）が次のように報じている。

当落あす夜半判る

川西町長選挙即日開票

川西町初代町長選挙は一週間の舌戦を終つていよいよあす町民の審判がくだされる。二十四日告示と同時に中村壮吉（六二）無機業、丸山恒正（五一）無農、農二両氏が立候補したのに続き、二十五日仙田から斎木名賀吉氏（六九）無、農が名乗りをあげ、賑やかな選挙戦に突入した。

両派とも鼻息荒らし

二十八、九の両日昼夜行われた立会演説会は斎木氏が辞退、中村丸山両候補が三十分ずつ熱弁をふるい、聴衆の入りも農繁期にもかかわらず盛会だった。

あすの投票日は午前七時、サイレンを合図に十六か所で投票を開始、夜六時に締め切り九時から千手中学校で開票、同十一時

と十二時の二回中間発表があり、凡そ午前一時半終了の予定である。選挙当日の有権者は八千四百九十九人（男四千四十一、女四千二百七十一人）

仙田の元村長増田克治氏を責任者におく中村候補は、立ち遅れのきらいはあつたが言論戦で十分ば

ん回できたと思ふのほどをみせ、当落のカギを握る仙田に大きな期待を寄せている。支持者にきく同氏の得票皮算様は、投票率九十五パーセントとみて千手で千二百五十、上野で九百五十、橋で九百、仙田千七百計四千八百とみている。

一方、中屋敷の小林伝司さん方に陣取る丸山候補も元村長の橋の野沢秀保氏を責任者になて「健全財政、五カ年計画推進」を旗印に現役の強味を誇っている。事務所関係者は「後半戦を有利に進めた」とし、これも投票総数七千六百前後として千手で千四百五十、上野五百八十、橋千六百三十、仙田千六百九十計五千六十前後はとれようとなかなか鼻息があらう。

初代町長に中村壮吉

広く町外からも注目された町長

選挙は、川西郷に黄金の稲穂がゆれる十月一日に執行された。それが初代町長の座に収まるのか関心がたかまり、町民が固唾を呑むなかで行われた開票の状況を、十日町新聞（昭和三十一年十月五日号）で偲んでいただきたい。

中村氏が大勝

川西町初代町長選で

開票結果

当選四四七票 中村 壮吉

次点三一六〇票 丸山 恒正

一五票 斎木名賀吉

投票率九一・二六%

投票日の一日は薄曇りで、絶好の投票日和だった。それだけに農繁期とかち合い、出足が心配されたが、身近な選挙だけに投票者は次々とつめかけ、有権者八千四百九十九人の九十一・二六パーセント七千六百八十三人が投票した。

開票は夜九時から千手中学校で行われたが、参観者は場外にあふれる程の熱の入れ方だった。十一時の中間発表では中村氏がやや優勢、続いて十一時五十分の発表では早くも「中村氏当確」が決まった。初代町長に当せんした中村氏の選挙事務所と自宅は、当選を祝う家の子郎党でゴツタ返すさわざ。その中で中村氏は喜びを次のように語った。

当選の報をきいて今までのつかれがふつとんでしまった。と同時に責任の重大さを痛感していま

す。選挙を通じて皆さんに公約したとおり、平和で豊かな川西町をつくりあげるとともに、中魚沼のためにも大いにプラスになるよう努力することを誓います。

斎木名賀吉の公約

高倉の斎木名賀吉は元近衛歩兵曹長で、大正四年に近衛兵で入営した中村壮吉の先輩に当たるといふから、両者の間にライバル意識がなかったといえは嘘になる。告示の翌日に名乗りを上げた斎木は、新町建設について有権者の度肝を抜くような、誇大妄想的な夢を次のように説いてまわった。

①オレが町長になつたら若ノ窪の下にトンネルを掘り、交通を至便に、中学校を一枚に統合する。

②高倉沢を堰止めて霧谷の下まで貯水し、生活用水や農業用水を確保して町民の便益を図る。

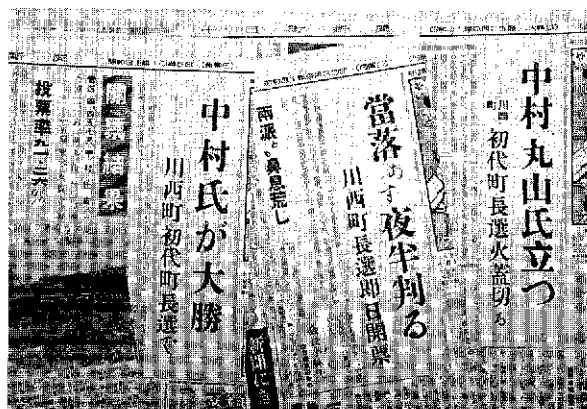
③童子ヶ島を荒れさせておく手はない。あそこ小学校や住宅を建て、洪海川も観光面で生かす。

④羽黒山から霧谷峠の峯まで、山麓は稲葉から千手の山の根まで開発して県立農学校を誘致する。

⑤洪水のたびに流失した十日町橋の下流に、シッコレナイ丈夫な永久橋を三つ架けるがんだ。

人びとは、壮大な構想を熱く語る斎木の話に、「そんな出来もしないことを考えるがんなお前さんばっかだ」と聞き流して相い手に

昭和31年当時の新聞の写し



しなかった。しかし、いま考えると五十年前の夢が着実に実現しており、この人の訴えた非凡な予言に脱帽しなければならぬ。

立候補の動機について、「町の衆がオレの話をどれだけ信じてくれるやら、それが知りたくて」と語り、「オレが出馬しても、カカ（夫人）もオレには入れてくれないだらうテ」と笑いながら届け出を済ませた。とくに支持する人もなく、選挙運動期間中を足の向くまま気の向くまま、軍用靴を腰に提げて意欲的に歩きまわった。それだけに、この人の獲得した十五票には意味がある（敬称略）。

※十日町新聞社の高橋源吾編集長から資料をいただきました。

平成十二年度

保育園入園申し込み受け付け

◆受付期限

十月二十日(水)～十一月十九日(金)

◆申し込み方法

役場福祉課並びに各町立保育園に備え付けの「保育所入所申込書」に必要事項を記入し、所定の提出先へ提出してください。

なお、新規児童分の申し込みは、役場福祉課窓口へおいでください。

また、保育園に関する資料を申込書と一緒にお渡ししますのでご覧ください。

◆申込書添付書類

○新規入園で家庭内に病人がいる場合は「医師の診断書」

◆注意事項

○心身の障害などで団体生活ができない児童は、入園できないことがあります。

○家庭内に入園希望児が二人以上いるときは、各児童ごとに申し込みしてください。

○現在入園中で引き続き入園を希望する児童で、昨年の申し込み時に「保育の実施を希望する期間」を一年以上で申し込みをされた児童分については申し込みの必要はありませんが、「保育所入所児童家庭調査票」を提出してください。

○家庭状況をお尋ねしますので、申込書は直接家族の方が持参してください。

◆問い合わせ先

役場福祉課社会福祉係(☎六八一三一一 内線二〇四)

◆募集人員と申込書の提出先

社会福祉法人妻有福祉会では、精神障害者入所授産施設「エンゼル妻有」の作業指導員一人を、次により募集いたします。

◆勤務場所

精神障害者入所授産施設「エンゼル妻有」

◆受験資格

作業療法上の国家資格を有する者(来春、資格取得見込み者を含む)

◆採用条件

広域行政圏在住又は出身者で、原則として普通自動車運転免許を有する通勤可能な者。

◆提出書類

①職員採用試験申込書
②「妻有荘」・「エンゼル妻有」

◆試験など

日時、会場は、直接本人に通知します。

◆試験面接

※問い合わせ先
(社)妻有福祉会(☎58-2050)

11/6(土)～7(日) かわにし自満祭

6日の催し

会場 川西中学校

◆夢きやらばん公演
午後6時～8時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいいとこ写真コンテスト

午前9時～午後8時

7日の催し

会場 川西中学校

◆大なわとび大会
午前9時～11時

◆民謡とおどりの祭典(芸能大会)
正午～午後4時

◆だるま落し大会
午前10時～正午

◆屋台村開店

◆錦鯉品評会
午前9時～午後4時30分

会場 総合センター

◆ユーユーコンサート(共演)
午後1時30分～4時

◆琴伝流大正琴発表会

午後1時30分～4時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいいとこ写真コンテスト

午前9時～午後4時



去年のきゃらばん公演から

妻有福祉会施設職員募集

社会福祉法人妻有福祉会では、精神障害者入所授産施設「エンゼル妻有」の作業指導員一人を、次により募集いたします。

◆勤務場所

精神障害者入所授産施設「エンゼル妻有」

◆受験資格

作業療法上の国家資格を有する者(来春、資格取得見込み者を含む)

◆採用条件

広域行政圏在住又は出身者で、原則として普通自動車運転免許を有する通勤可能な者。

◆提出書類

①職員採用試験申込書
②「妻有荘」・「エンゼル妻有」

◆試験など

日時、会場は、直接本人に通知します。

◆試験面接

※問い合わせ先
(社)妻有福祉会(☎58-2050)

善意

(敬称略)

福祉に

渡辺 クラ(栄 町) 十万円
シルバー商会(十日町市) 三万円

第4回

川西町長杯ゴルフ大会

参加者募集

★日時 10月17日(日) 雨天決行
★会場 ナカゴグリーンパーク
ファミリーゴルフ場

★参加費 5,000円
(プレー費・昼食込み)

★方法 男女混合・ベリア方式

★募集人員 先着40人

★申し込み期限 10月12日(火)
まで

★申込先・問い合わせ先
〒948-0122
川西町大字上野

サンパレスナカゴ
(☎0257-68-4419)

★申し込み方法
参加申込書と参加費を添えて直
接申込先へ。

※住所・氏名・生年月日・性別
・電話番号が必要。

※納入後、変更があっても払い
戻しはいたしません。

★主催 中子ふるさと広場管理
組合

かわい 俳壇 高崎正風選

ふくろうのほうほうとうと夜長かな
夜なべしてバザーへの物二つ三つ
花木権八海山も晴れにけり

熱の子に滴る梨をむきにけり
里芋の葉の下くまりさくを切る
小白倉 江口みゆき

神燈の明りうるみぬ夜の霧
秋立つやにわかに目だつ葉の太り
元町 田畑 吉治

雨風もなくて厄日や大根蒔く
車椅子豊作の田にきて止る
野口 野沢 寅生

山一つ越えて友訪う草紅葉
紫苑切る遠き日の母空深し
足立区 涌井ハル子

祭了え日焼け疲れの子等眠る
白鷺の番ひ降り立つ刈田かな
寺尾 白井すみい

栗のいが幾つも落ちて通学路
大島の記念の椿実をつけれ
綾瀬市 野沢ますえ

腰かがめあと一畝と麦を蒔く
運動会パワー貰うて帰りにけり
練馬区 須藤 遊人

月高し眠れぬむれと蛙鳴く
月出でて明るき谷間蛙鳴く
中島町 長野 キミ

先人の苦勞を守り棚田刈る
稲架かけて隣としばし別れかな
小白倉 田中 優美

新涼や鐘撞く僧の白餅
我れよりも流行を着て古案山子
新町新田 若山 三郎

強かに倒れし稲の手刈りかな
倒伏の稲刈り上げし安堵かな
霜条 星名 星光

案山子にも言葉をかけて稲の出来
稲の出来風の行く道ありにけり
霜条 大海 白涛

虫の声着に独り酒を酌む
一人酌む杯冷えて遠蛙
志木市 山田 徳治

蟻の身構える鎌振り上げて
時折に雲が邪魔する月見かな
大倉 中条 石平

仙田から稲刈りだよと孫の声
稲刈りをやっても見たき八十路吾れ
八王子市 松浦 サク

糞害を残し我が家の燕去る
この辺り棚田の跡や花芒
上町 高橋 願似

敬老の日を有難く迎ひけり
敬老の雨の一日テレビ見る
高倉 齊木 和人

桐一葉ふわりと落ちし蟻の道
田中町 石澤 澄代

今年また声軽やかに鉦叩
浦和市 登坂 博史

巢の蜂の怒り静まるまでを待つ
岩瀬 登坂伊智子

一枚の目立つ休み田蕎麦の花
座布団に一つづつ置く団扇かな
山野田 藤田ひろ志

元町 金子 鉄平

休日救急医

10月10日	山口医院(下 条)	☎ 55-2003
〃	上 村 病 院(中里村)	☎ 63-2111
11日	大 坪 医 院(四日町)	☎ 57-6100
17日	大 島 医 院(川原町)	☎ 52-2957
24日	長 山 医 院(津南町)	☎ 66-2877
〃	中 条 病 院(中 条)	☎ 57-3018
31日	庭 野 医 院(寿 町)	☎ 52-2711
11月 3日	田中外科医院(田中町)	☎ 52-2403
7日	高 木 医 院(土 市)	☎ 58-2361
〃	中 条 病 院(中 条)	☎ 57-3018

あなたの腰大丈夫ですか？

秋の農作業も一段落し、一息ついている頃と思います。

最近、集落を回っていて思うことは、「腰の曲がった方が本当に多くなった」ということです。

「転ばないよう気をつけて」と声をかけることが多くなりました。

そして、本当に多くの方が腰痛や膝痛を持って生活していることに驚かされます。

腰痛には、長い間座っていたり、立っていたりすることで重く、だるいような慢性的痛みが起る腰痛症。これらに加え、腰からお尻にかけての痛みや下股のしびれを伴うすべり症や椎間板ヘルニアなど様々な原因があるようです。

日常生活時の注意や軽い体操で予防できるので、ぜひ実践してみてください。また、腰の弱い人や腰痛のある人にとって、最も良いスポーツは水泳と言われます。浮力によって楽に体を動かすことができ、腰を痛める心配も少ないという事です。中でも背泳ぎの姿勢が効果的ということでした。挑戦してみたいいかがでしょうか？

ここでは、家でできる腰痛体操を紹介いたします。実践してみてください。

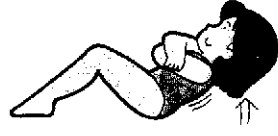
【腰痛予防の5か条】

1 無理な姿勢が腰痛を起こす

さあはじめよう腰痛体操

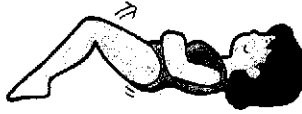
1 腹筋運動

ゆっくり起き上がり、肩が床から25cmのところから秒とめ、再びもとの位置にもどします。この体操を3回くらいから始めて、10回くらいします。



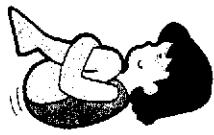
2 腎筋運動

おなかとおしりをちぎめ、上体はそのままで。おへそをあごのほうに向けるようにします。5~10回くらい行い、ゆっくり休みます。



3 背筋を伸ばす

両手で両ひざをわきの下にかかえ込みます。できれば、10~20回くらい連続して行います。



戸籍の窓から

たかさこーご円満に

（春日敏幸 神社町
小野塚久美子 十日町市
井川健久 東善寺
山岸百合子 小国町

昇天ーごめい福を祈る

長谷川力一 71（東）赤谷
斉藤 安雄 79（克根）発電所通り東

高橋 豊二 80（本人）田中町
星野 八郎 90（勝行）発電所通り西
増田 ヌイ 93（準一）室島

うぶ声ーおすこやかに

佐藤 俊之介 隆朗 下平新田
長谷川 栞 貢 みのり団地
高橋 沙夜 一能 坪山
山口 菜由花 幸恵 みのり団地

（9月1日ー30日届け出分）

特設人権相談所を開設します

日時 10月15日（金）午前10時ー午後3時
場所 川西町高齢者コミュニティセンター
相談担当者 人権擁護委員 児玉達雄さん
小林 力さん
滋野豊子さん

表紙の写真

九月十二日、川西中学校グラウンドで、「川西中体育祭」が開催されました。「ひびけ感動ノ燃える闘志」今、勝利を目指して戦うとき」をスローガンに、赤・黄・青の三組に分かれた生徒たちが、学年全員種目や全員リレーなどを展開。中でも長き伝統を引き継ぐ種目男子騎馬戦、女子綱引きなど、熱きパワーと激しいエネルギーのぶつかり合いを見た一日でした。



女子綱引き大将戦のひとコマ

ちいさな展覧会

132

橘小学校



「野口の神社から見える風景」
6年生 涌井愛子さん



「チラシのえんぴつ立て」
3年生 平本祥太くん



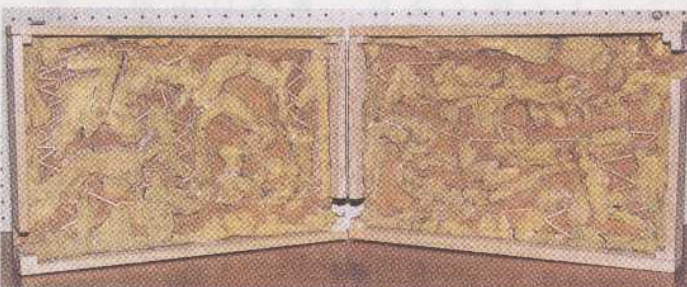
「マスコットカレンダー」
5年生 共同作品



「ロボットとかいじゅう」
2年生 根津大輔くん
（11月号は仙田小学校です）



「めめちゃん大好き」
1年生 丸山友浩くん



「阿武隈洞のしょうにゆう洞迷路」
4年生 涌井智仁くん